

業績予想(連結)

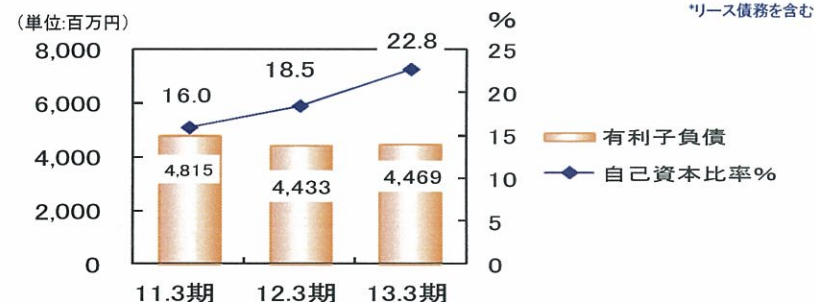
震災の影響がなくなり復興から飛躍へ

(単位:百万円)	2012年3月期 実績	2013年3月期 予想
売上高	5,599	6,057
営業利益	80	411
営業利益率	1.4	6.8
経常利益	54	408
経常利益率	1.0	6.7
当期純利益	385	374

財務目標(連結)

自己資本比率は18.5%と着実に改善

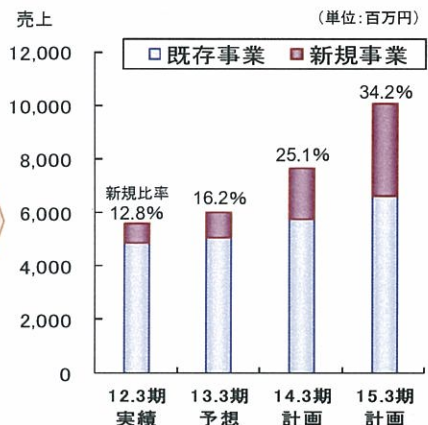
(百万円)	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 予想
有利子負債額*	4,815	4,433	4,469
自己資本比率	16.0%	18.5%	22.8%



中期連結業績目標

フリット、機能性薄膜を今後の収益の柱に

- ガラス、薄膜の特性を最大限生かせる数10億程度の市場での圧倒的な存在になることを指向
- 競争が激化している既存事業は差別化によりシェアを拡大し、コストを削減し利益を確保する。
- 新潟への設備移転で生産体制の再編成を行い、当社の強みを活用した新規事業の早期収益化を図る。



※デジタルシネマ用反射鏡は、新規事業に含む

中期連結業績目標

今後の売上高及び営業利益の目標

